

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37421
事業名	児童精神医学寄附講座設置費					
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課				
	課長名	児玉 哲寛	担当者名	林 未来	電話番号	011-211-2936
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他				
	目的	短期	北海道大学病院において、中学生までの児童を対象に診療を行い、地域住民が不便なく受診できる環境作りを目指す。			
		長期	児童精神科の専門医を養成することを主たる目的とし、児童思春期症例を診ることができる精神科医の養成も併せて行うことができるような教育・研究体制を整備することにより、札幌市における児童精神科の診療体制の充実と、札幌市民全体の健康増進を目指す。			
	取組内容	北海道大学病院に寄附を行い、寄附講座を設置する。 名称:北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門 設置期間:平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(債務負担行為設定済み)				
	実施結果	寄附講座により、専門医の養成が行われたほか、北海道大学病院における児童精神科医療の実施、子ども心身医療センターへの医師派遣が行われた。 また、子どもの心の診療ネットワーク事業の拠点として、全体管理、研修、意見交換等を行った。				
事業実施における工夫点	寄附先である北海道大学病院と適宜意見交換しながら事業を進めている。					
対象者	児童精神科の専門医を目指す研修医等	開始	平成26年度	終了	令和5年度	
関連法令・条例・要綱等	北海道大学と講座の設置等に関する協定を締結している。					
他都市の状況	児童精神科医療に関する寄附講座については、長野県、静岡県、福井県、高知県、長崎県、相模原市において設置例あり。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	30,000	30,000	30,000	30,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.1	0.1	0.1	0.4	
人件費	720	720	720	2,520	
計(事業費+人件費)	30,720	30,720	30,720	32,520	
事業費の内訳	令和3年度決算	寄付金30,000千円			
	令和4年度予算	寄付金30,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	講義の受講者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	200	200	200	200	
活動指標2	指標名	診療人数(外来及び入院の延べ人数)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	2,850	2,900	3,430	3,500	
成果指標1	指標名	寄附講座による児童精神科医の養成数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	2	2	2	4	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	指標のとおり、相応の実績が認められる。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他都市の状況から、教員数と寄附金額は適正な規模である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	専門的知見を有する特任教授を招聘できたことから、実施手法は適切であるとする。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	当該寄附講座があることで、専門医を養成する体制を整えられている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	令和5年度末までの設置のため、令和6年度以降の対応について検討する。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	現状において、特段見直しの必要性は認められない。令和6年度以降については、事業検証をした上で別途検討する。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 今年度と同様			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● その他 令和4年度中に翌年度分の寄附を行う必要があるため、予算上は債務負担行為を設定した上で令和4年度予算までとなり、令和5年度当初予算の予算要求はなし。		見直し効果額	0 千円